

# かみねっちょ新聞

令和 4 年 1 月号

動物園では様々な動物たちのいろいろな行動を見ることができます。鼻を高く上げるゾウ、木に止まって羽をパタパタするウミウ、壁を蹴って大きな音を出すチンパンジー。それらの行動にはちゃんと意味があります。そこで今回はそんな動物たちの行動の意味を、オグロプレーリードッグを例に考えてみましょう！

## 明日誰かに話したくなる！動物たちの行動のイミ！

### オグロプレーリードッグ編

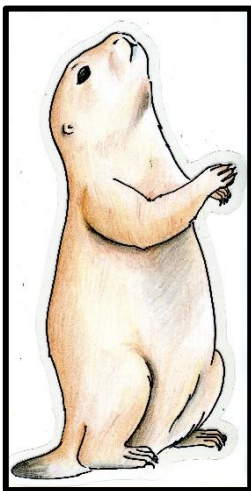


#### 土に頭突き

プレーリードッグは地面にトンネルを掘って巣を作りますが、この時によく頭突きをしています。これはトンネルの壁を固めて崩落しないようにしています。

#### 座ってエサを食べる

この体勢は楽だからというより周囲を警戒しているからです。本来、北アメリカの草原で暮らしているプレーリードッグは、ワシやコヨーテなどの天敵に狙われています。なので、食事中も周囲の様子が分かるように視線を高くしてエサとなる草を食べます。



#### 立ち上がり一斉に鳴く

これは周囲に危険を知らせる合図になります。一頭が鳴くとそれを聞いた他のプレーリードッグも反射的に鳴き、この声は円のように広がっていきます。かみね動物園ではもっぱら、近くで金属の食器を落としてしまった時などにビックリして鳴いていることが多いです。

この他にもおもしろい行動が見られます。

ぜひゆっくりと動物たちを見て、何をしているのかなー？何でそうしているのかなー？と考えてみると、普段の動物園と違った楽しみ方ができると思いますよ。

飼育員 西野

# 獣医のつぶやき

今年はトラ年です。トラと言えば、かみねのアイドル『トラ🐾のさわ』です。

元気なさわ。夕方の入舎時に扉を開けても帰ってこない、『さわーッ、おいでー』と呼んでも帰ってこない、サーッと降りてきて部屋に入るのかなと期待すると、サーときびすを返して戻ってしまったり、部屋に一回入ってサーッと出て行ったりと私たちを翻弄します。しかし、時にはなんという早業かと思うほどすんなり入ってきて、きまぐれというか遊んでいるのかな？というようなところも。さわも今年13歳になり、かみねに来て12年。動物は環境が変わると、餌を食べなくなってしまうことがあるので、来園時には、まず静かな環境で新しい場所に慣れてもらえるように、ブルーシートを張り、お客さんから見えないようにしていました。しかし、なかなか食べてくれません。早く食べてくれないかと気をもんでいたのですが、、ブルーシートを外したところ食べだしました。人工哺育で育ったためか、人間が大好きなサワ、人が近くにいるほうが安心する様でした。

9 亜種に分類されたトラは、20世紀初め、世界に10万頭いたと言われており、現在は、そのうちの3亜種が絶滅したと言われていています。今日では、6亜種で約4000頭前後のトラが野生で生き残っていると推定されており、すべてのトラの亜種において絶滅が心配されています（参考：IUCN）。



今年、新しい猛獣舎が完成予定、かわいいサワちゃんに会いに来がてら、トラたちについて思いを巡らしてみたいはいかがでしょうか？

獣医師 飯田

## 2月の予定

- ・6日(日) マンドリル ケンシロウ誕生日会
- ・26日(土) 獣医師体験



詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください  
または 0294(22)5586 まで

ネコ?キツネ?ザル? さく・なめかめ



なきごえがネコにしているそうです!



YouTube

SNSでも写真や動画、最新の情報をお知らせ中!



Twitter



Facebook



トラ「さわ」

